

学力向上フロンティアスクール用中間報告書

都道府県名	山梨県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	身延町立身延西小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	11
児童数	24	33	23	32	32	21	0	165	

研究の概要

1. 研究主題

学びを楽しむ子どもの育成
～支援を工夫した授業づくりと評価の在り方を追究して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全校・算数
児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	
--------	--

平成15年度	<p>テーマ（研究の主眼） TTをはじめとする，児童一人一人により目を向けた指導方法の追究 評価計画の検討 研究の見通し（仮説） 学習内容や教材，指導方法の改善を追究し，個に応じた支援を工夫した授業づくりを進めることにより，児童の基礎・基本の力の定着が図れるであろう。 評価内容や評価方法の改善を図り，支援と評価の一体化を追究することにより，児童の自ら学ぶ力が育つであろう。 基礎学力の定着と自ら学ぶ力を育てることにより，児童一人一人の確かな学力を培い，学びを楽しむ子どもの育成が図れるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 基礎・基本の定着をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準化された教育課程到達度調査などを利用しての算数科における児童の実態把握と指導重点領域の設定 ・TTを活用した個に応じた指導体制の工夫 ・学習意欲の喚起や学習の定着をねらいとした学習内容や教材・教具，指導方法の追究 ・支援と評価の一体化を図った評価の場の設定，評価方法の開発 <p>自ら学ぶ力の育成をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付きたい力の明確化と，特色ある指導計画の策定
--------	--

- ・ T T や外部人材を活用した，学習内容と活動の広まり
- ・ 自己評価力を培うための手だて工夫
- ・ その他として
- ・ 研究内容の保護者への説明
- ・ 情報教育の推進
- ・ 学年間の日常実践の交流

平成16年度

テーマ（研究の主眼）
 児童一人一人に目を向けた指導方法の追究
 特色ある評価計画の策定
 研究の見通し（仮説）
 学習内容や教材，指導方法の改善を追究し，個に応じた支援を工夫した授業づくりを進めることにより，児童の基礎・基本の力の定着が図れるであろう。
 評価内容や評価方法の改善を図り，支援と評価の一体化を追究することにより，児童の自ら学ぶ力が育つであろう。
 基礎学力の定着と自ら学ぶ力を育てることにより，児童一人一人の確かな学力を培い，学びを楽しむ子どもの育成が図れるであろう。

研究の内容・方法
 基礎・基本の定着をめざして

- ・ 標準化された教育課程到達度調査などによる算数科における児童の実態の変容把握と，それを受けての指導重点領域の設定
- ・ T T を活用した効果的な指導方法の工夫
- ・ 操作活動や体験活動を重視した教材・教具の開発

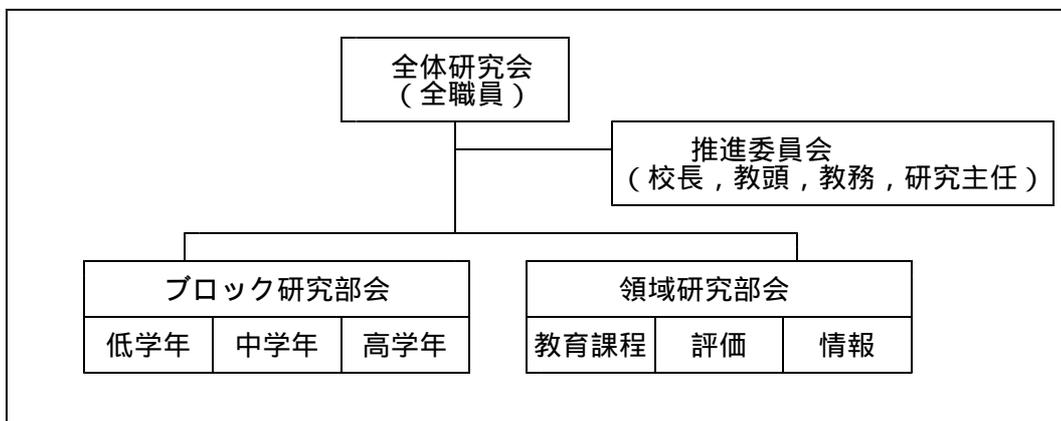
自ら学ぶ力の育成をめざして

- ・ 評価計画を含んだ指導計画の見直し
- ・ 自己評価力を培うための手だての工夫

その他として

- ・ 研究内容と研究経過などの保護者への説明
- ・ 学力向上フロンティア事業推進校との情報交換
- ・ 本校の研究内容や経過の発信

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- 支援を工夫した授業づくり
 - ・ 標準化された教育課程到達度調査などを利用して算数科における児童の実態把握を図り，本校の重点領域を明らかにすることができた。
 - ・ T T を活用した効果的な指導体制や指導方法の工夫を授業実践を積み重ねる中で追究することができた。
 - ・ 児童の概念形成を助けたり理解を深めたりするために具体物を用いた操作活動や体験活動が大切であることから，教材や教具の吟味が深められた。
- 特色ある評価計画
- ・ 算数科の単元ごとの評価規準をもとに指導の実際に合った評価基準を想定し，

年間指導計画に組み入れた。

- ・主体的に学ぶ力を育てる視点から，児童の自己評価力を高める手だてを模索した。児童に学習の振り返りをさせたり，その時間につかんだものを確認させたり等々，各学年の実態や児童の発達段階を考慮しながら実践を積み重ねている。
- ・その他
- ・保護者を対象とした意識調査により，保護者の「学力」に関する意識や意向を把握することができた。
- ・保護者へ研究内容や推進状況を説明することにより，保護者の「学習」への関心が高まってきたように思える。

2. 今後の課題

支援を工夫した授業づくり

- ・授業のねらいに即した，T Tを含めた指導形態や配慮事項等の追究。
- ・児童一人一人に応じた発展的な並びに補充的な教材の整備。
- ・操作活動や体験活動を重視した教材・教具の開発
- ・指導重点領域を含む年間指導計画の見直し
特色ある評価計画
- ・単元ごとの評価基準の見直しと，評価計画及び評価方法の確立。
- ・自己評価力を育てるための手だての追究及び個人カルテの整備。
- ・1年生から6年生までの系統立てた評価計画の確立。

学力等把握のための学校としての取組

教研式標準学力検査

- ・算数科の実態把握を図り，指導に生かすために，学習定期的（年度当初）に実施している。平成16年度も実施し，15年度のものと比較検討する予定。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

公開授業研究会

- ・平成16年11月17日（水）
- HPによる研究の成果や経過の発信
- ・現在作成中

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無